



TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

2014年12月期 決算説明会

2015年2月10日(火)

株式会社タムロン (証券コード:7740)

目次

I. 決算概要

1. 事業概要	P.4
2. 2014年総括	P.5
3. 2014年上期・下期別業績	P.6
4. 2014年通期業績	P.7
5. 2014年セグメント別通期業績	P.8
6. 2014年セグメント別四半期別業績	P.9

II. 2015年予想

1. 2015年通期予想	P.11
2. 利益変動要因	P.12
3. 2015年売上高・営業利益予想	P.13
4. 2015年セグメント別予想	
①写真関連事業	P.14
②レンズ関連事業	P.15
③特機関連事業	P.16

III. 財務状況

1. 財政状態	P.18
2. 設備投資額、減価償却費	P.19
3. 研究開発費	P.20
4. たな卸資産、有利子負債	P.21
5. キャッシュ・フロー	P.22
6. 配当金の推移	P.23
7. 参考データ	
①主要経営指標	P.24
②為替感応度	P.25

IV. 中期戦略

1. ブランドメッセージ	P.27
2. 中期目標(2017年)	P.27
3. 2017年セグメント別中期目標	
①写真関連事業	P.28
②レンズ関連事業	P.29
③特機関連事業	P.30
4. 生産体制の強化について	P.31
5. 中長期の課題	P.32

I . 決算概要

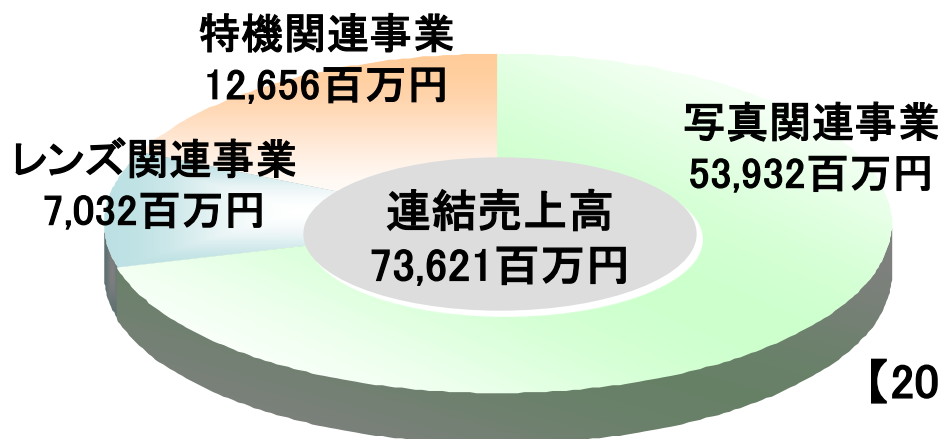
I -1. 事業概要

【会社情報】

- ❖ グループ会社(連結子会社): 9社
- ❖ 国内事業所数: 4 / 営業拠点: 5
- ❖ ISO9001、ISO14001 認証取得
ISO/TS16949 認証取得
- ❖ 連結売上高: 73,621 百万円 (14年12月期)
- ❖ 連結従業員数: 2,694 人 (14年12月末現在)
- ❖ 連結総資産: 69,906 百万円 (14年12月末現在)

【事業内容】

- ❖ 写真関連事業
レンズ交換式カメラ用交換レンズ
(一眼レフ・ミラーレス)
- ❖ レンズ関連事業
ビデオカメラ用レンズ
デジタルカメラ用レンズ
遠赤外線カメラ用レンズ
各種光学用デバイス部品等
- ❖ 特機関連事業
監視カメラ用レンズユニット
監視カメラ
車載用レンズ
原器



【2014年12月期 事業セグメント別売上高】

I -2. 2014年 総括

【 経 営 環 境 】

- ❖ 世界経済⇒米国は回復基調、欧州経済・日本経済には停滞感・消費マインドの弱含み。
- ❖ 為替動向⇒円安基調が継続、第4四半期には更に円安加速。
- ❖ デジタルカメラ市場⇒レンズ一体型は大幅減少継続で約4割減。

レンズ交換式カメラは一部回復基調となるも欧州等で回復遅れ約2割減。

【 当 社 実 績 】

- ❖ 連結売上高は、過去最高売上高を達成。
- ❖ 利益面は、為替影響に加えて新製品効果等により、各利益段階で2ケタ増益。利益率も向上。
- ❖ 写真関連事業は、2013年末から順次発売の新製品5機種が業績を牽引し、厳しい市場環境の中、為替影響を除いても増収増益達成。

【 ト ピ ッ ク ス 】

- ❖ 12月にフルサイズ対応の大口径F/2.8の超広角ズームレンズでは世界初となる、手ブレ補正機構「VC」を搭載したSP 15-30mm F2.8 VC USD (Model A012)を発売。
- ❖ 今期業績を牽引したSP 150-600mm VC USD(A011)、16-300mm VC PZD(B016)がEISAアワード受賞(当社は9年連続受賞。2年連続2機種同時受賞)。
- ❖ SP 150-600mm VC USD(A011)が『TIPA AWARDS /BEST EXPERT DSLR LENS』賞を受賞。

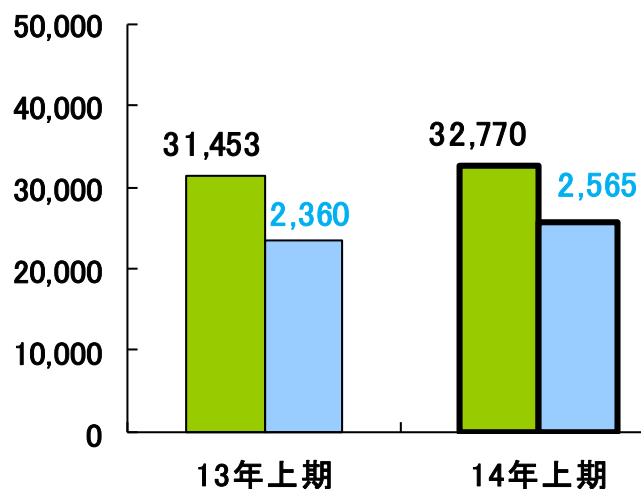
I -3. 2014年 上期・下期別業績

(単位:百万円)

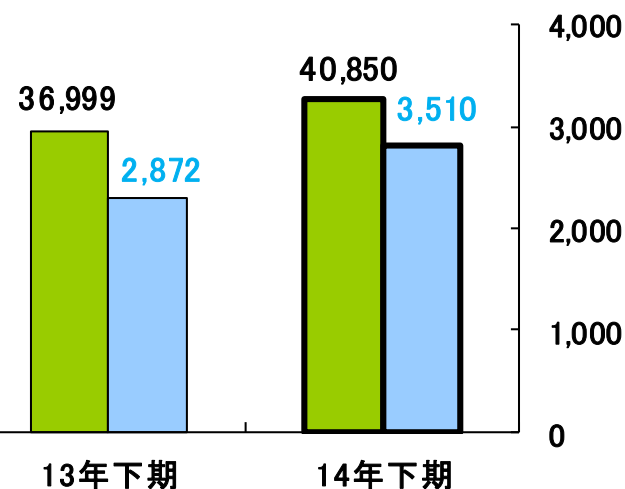
	2013年 上期	2014年 上期	増減	2013年 下期	2014年 下期	増減
売上高	31,453	32,770	+1,317	36,999	40,850	+3,851
営業利益	2,360	2,565	+205	2,872	3,510	+637
営業利益率	7.5%	7.8%	+0.3%	7.8%	8.6%	+0.8%

(売上高/百万円)

■売上高 □営業利益



(営業利益/百万円)



I -4. 2014年 通期業績

(単位:百万円)

	2013年 通期実績	2014年 通期計画	2014年 通期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)		為替 影響額 (対前年)
				金額	率	金額	率	
売上高	68,452	71,000	73,621	5,168	107.6%	2,621	103.7%	45.5億円
営業利益	5,233	5,800	6,076	843	116.1%	276	104.8%	8.5億円
営業利益率	7.6%	8.2%	8.3%	0.7%	-	0.1%	-	-
経常利益	5,196	5,600	6,200	1,003	119.3%	600	110.7%	-
経常利益率	7.6%	7.9%	8.4%	0.8%	-	0.5%	-	-
当期純利益	3,197	3,900	3,846	649	120.3%	△53	98.6%	-
実効税率	33.8%	-	37.0%	3.2%	-	-	-	-
為替(米ドル)	97.73	100.00	105.79	8.06	-	-	-	-
為替(ユーロ)	129.81	135.00	140.37	10.56	-	-	-	-

I -5. 2014年 セグメント別通期業績

(単位:百万円)

		2013年 実績	2014年 計画	2014年 実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)		為替 影響額 (対前年)
					金額	率	金額	率	
写真関連 事業	売上高	48,492	52,500	53,932	5,440	111.2%	1,432	102.7%	31.0億円
	営業利益	4,280	5,900	5,853	1,573	136.7%	△46	99.2%	6.5億円
	営業利益率	8.8%	11.2%	10.9%	2.1%	-	△0.3%	-	-
自社ブランドは新製品投入効果等で主要市場全てで現地通貨ベースで増収を達成。為替影響を除いても増収増益達成。									
レンズ関連 事業	売上高	7,629	6,500	7,032	△596	92.2%	532	108.2%	5.5億円
	営業利益	938	500	664	△274	70.8%	164	132.9%	0.5億円
	営業利益率	12.3%	7.7%	9.4%	△2.9%	-	1.7%	-	-
市場の大幅縮小の影響を受けたものの、高付加価値品の受注強化により市場の落ち込みに比べ小幅な減収にとどまる。									
特機関連 事業	売上高	12,330	12,000	12,656	325	102.6%	656	105.5%	9.0億円
	営業利益	2,429	2,100	2,190	△238	90.2%	90	104.3%	1.5億円
	営業利益率	19.7%	17.5%	17.3%	△2.4%	-	△0.2%	-	-
中国市場での競争激化の影響を受けたものの、その他地域は堅調に推移し、増収を確保。									
消去又は全社		△2,415	△2,700	△2,632	△216	-	67	-	-
合計	売上高	68,452	71,000	73,621	5,168	107.6%	2,621	103.7%	45.5億円
	営業利益	5,233	5,800	6,076	843	116.1%	276	104.8%	8.5億円

I -6. 2014年 セグメント別四半期別業績

(単位:百万円)

		2014年 第1四半期	2014年 第2四半期	2014年 第3四半期	2014年 第4四半期	2014年 通期
写真関連 事業	売上高	9,387	13,702	13,584	17,257	53,932
	営業利益	619	1,692	1,761	1,780	5,853
	営業利益率	6.6%	12.3%	13.0%	10.3%	10.9%
レンズ関連 事業	売上高	1,590	1,928	1,807	1,705	7,032
	営業利益	23	237	219	184	664
	営業利益率	1.5%	12.3%	12.1%	10.8%	9.4%
特機関連 事業	売上高	3,154	3,007	2,957	3,537	12,656
	営業利益	668	478	469	573	2,190
	営業利益率	21.2%	15.9%	15.9%	16.2%	17.3%
消去又は全社		△641	△512	△667	△811	△2,632
合計	売上高	14,132	18,638	18,349	22,500	73,621
	営業利益	670	1,895	1,783	1,727	6,076

Ⅱ. 2015年予想

Ⅱ-1. 2015年 通期予想

2期連続増収増益を見込む

(単位:百万円)

	14年上期 実績	14年下期 実績	14年通期 実績	15年上期 予想	15年下期 予想	15年通期 予想	増減 (対前年通期)	
							金額	率
売上高	32,770	40,850	73,621	36,200	42,300	78,500	4,878	106.6%
営業利益	2,565	3,510	6,076	2,800	3,800	6,600	523	108.6%
営業利益率	7.8%	8.6%	8.3%	7.7%	9.0%	8.4%	0.1%	-
経常利益	2,638	3,561	6,200	2,700	3,700	6,400	199	103.2%
経常利益率	8.1%	8.7%	8.4%	7.5%	8.7%	8.2%	△0.2%	-
当期純利益	1,820	2,025	3,846	1,900	2,300	4,200	353	109.2%
為替(米ドル)	102.46	109.01	105.79	115.00	115.00	115.00	9.21	-
為替(ユーロ)	140.44	140.30	140.37	135.00	135.00	135.00	△5.37	-

Ⅱ-2. 2015年 利益変動要因

※為替影響を除いて増収見込む

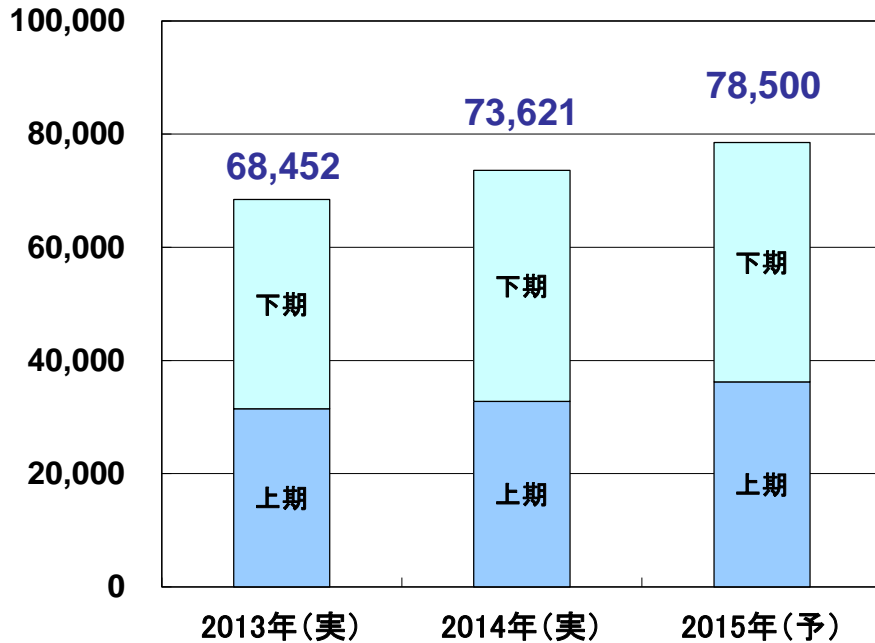
※ユーロ安の影響で、利益への為替影響はマイナスとなるが、原価低減等により、増益見込む

(単位:百万円)

	14年通期 実績	15年通期 予想	増減 (対前年)		変動要因
			金額	率	
売上高	73,621	78,500	4,878	106.6%	売上増 + 15.8億円 為替影響 + 33.0億円 <hr/> + 48.8億円
営業利益	6,076	6,600	523	108.6%	売上増 + 5.0億円 為替影響 △ 3.0億円 原価・営業費用減 + 3.2億円 <hr/> + 5.2億円

II-3. 2015年 売上高・営業利益予想

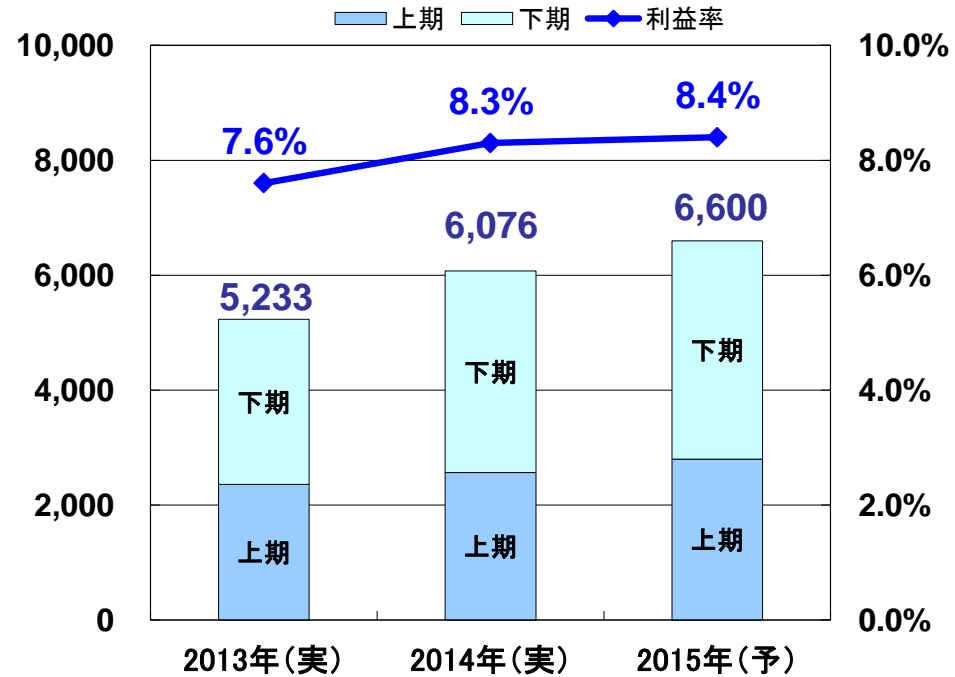
売上高



上期	31,453	32,770	36,200
下期	36,999	40,850	42,300
通期	68,452	73,621	78,500
前期比	106.4%	107.6%	106.6%

* (実):実績 * (予):予想

営業利益 (単位:百万円)

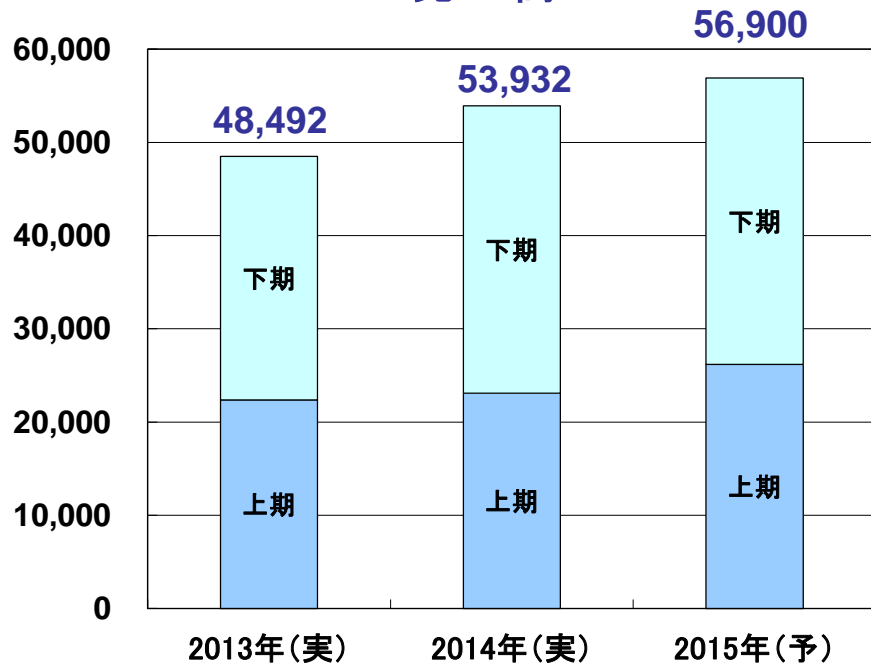


上期	2,360	2,565	2,800
下期	2,872	3,510	3,800
通期	5,233	6,076	6,600
利益率	7.6%	8.3%	8.4%
前期比	95.1%	116.1%	108.6%

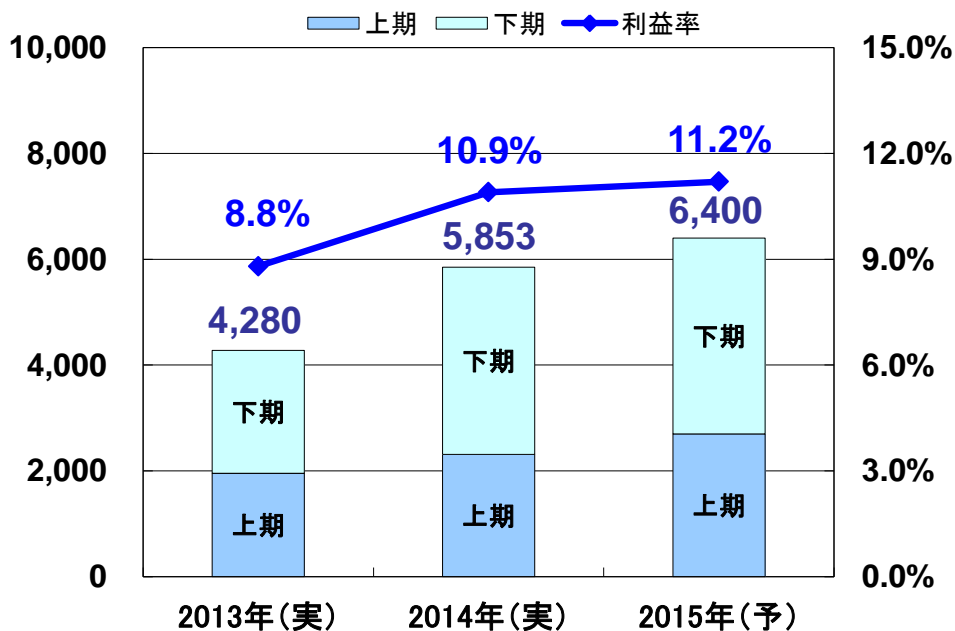
Ⅱ-4. 2015年 セグメント別予想 ①写真関連事業



売上高



営業利益 (単位:百万円)



上期	22,380	23,090	26,200
下期	26,111	30,842	30,700
通期	48,492	53,932	56,900
前期比	103.4%	111.2%	105.5%

上期	1,956	2,311	2,700
下期	2,324	3,542	3,700
通期	4,280	5,853	6,400
利益率	8.8%	10.9%	11.2%
前期比	71.8%	136.7%	109.3%

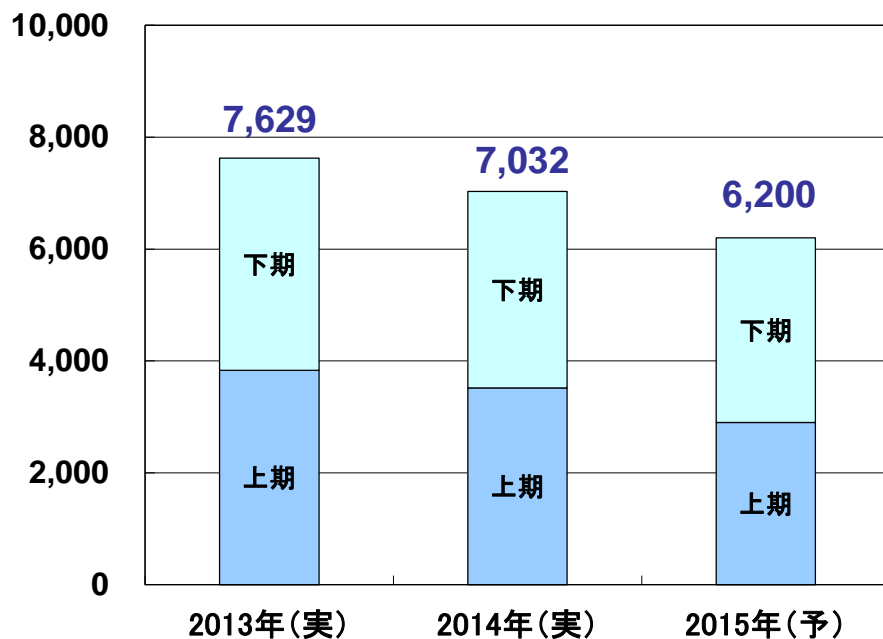
* (実):実績 * (予):予想

❖ 自社ブランドの前期発売の新製品の年間寄与、今期の新製品投入効果等により、増収増益目指す

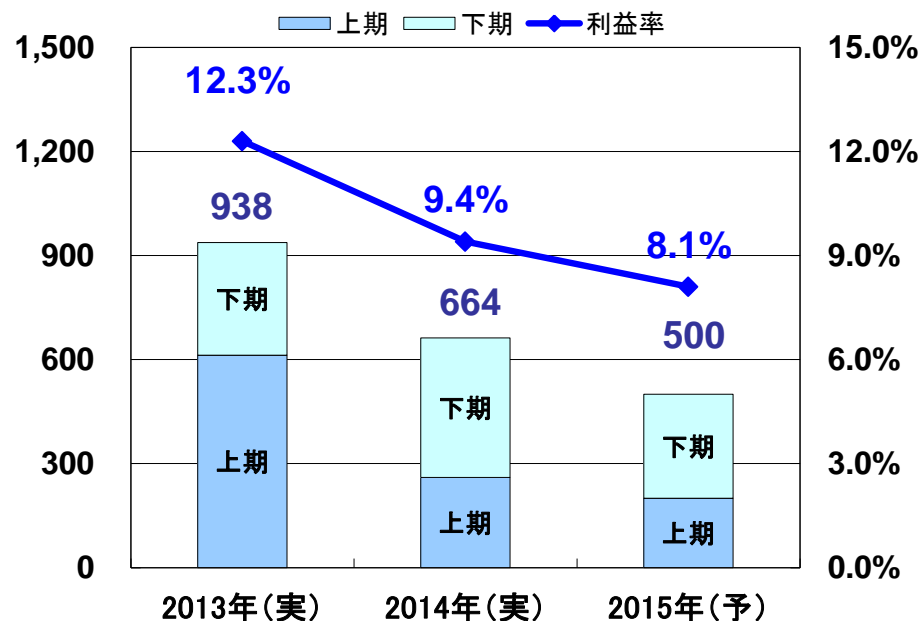
Ⅱ-5. 2015年 セグメント別予想 ②レンズ関連事業



売上高



営業利益 (単位:百万円)



上期	3,833	3,518	2,900
下期	3,795	3,513	3,300
通期	7,629	7,032	6,200
前期比	92.2%	92.2%	88.2%

上期	613	260	200
下期	325	403	300
通期	938	664	500
利益率	12.3%	9.4%	8.1%
前期比	207.4%	70.8%	75.3%

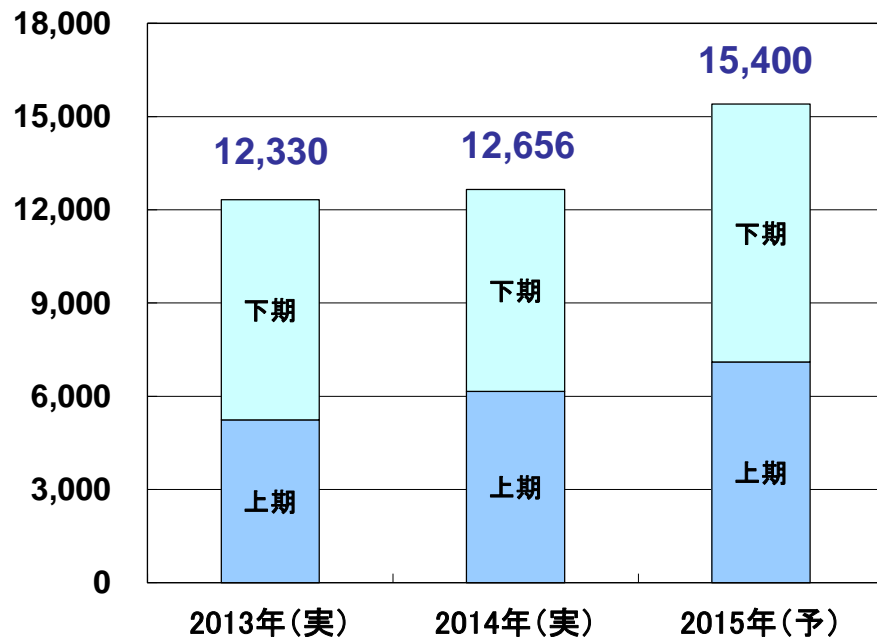
* (実): 実績 * (予): 予想

❖引き続き市場の縮小継続が予想され、減収減益を見込むも黒字確保と新事業開拓に注力

Ⅱ-6. 2015年 セグメント別予想 ③特機関連事業

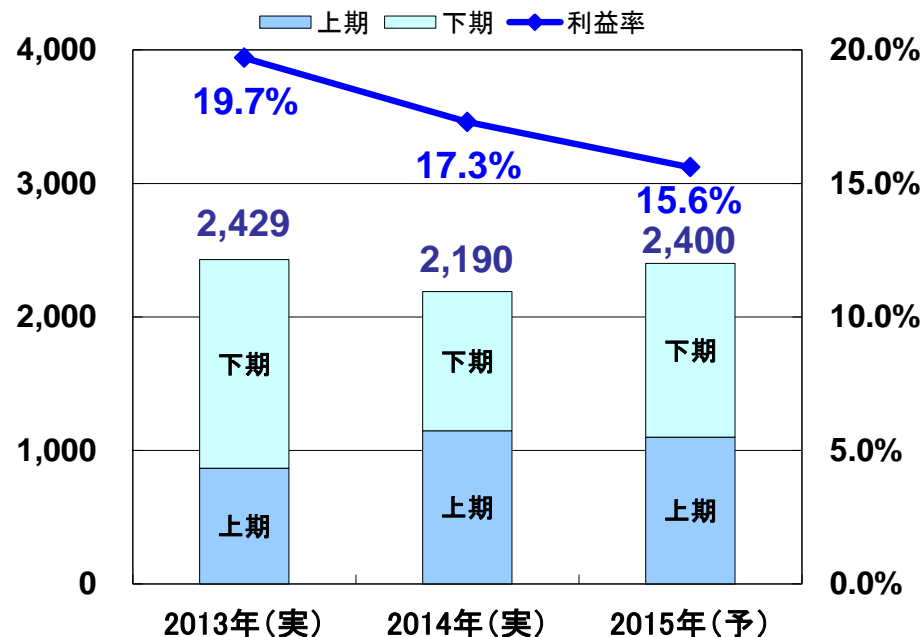


売上高



営業利益

(単位:百万円)



上期	5,239	6,161	7,100
下期	7,091	6,494	8,300
通期	12,330	12,656	15,400
前期比	134.6%	102.6%	121.7%

上期	866	1,147	1,100
下期	1,563	1,043	1,300
通期	2,429	2,190	2,400
利益率	19.7%	17.3%	15.6%
前期比	152.2%	90.2%	109.6%

* (実):実績 * (予):予想

❖ 中国市場での挽回を図ると共に、その他地域では引き続き業績拡大し、増収増益を目指す

Ⅲ. 財務状況

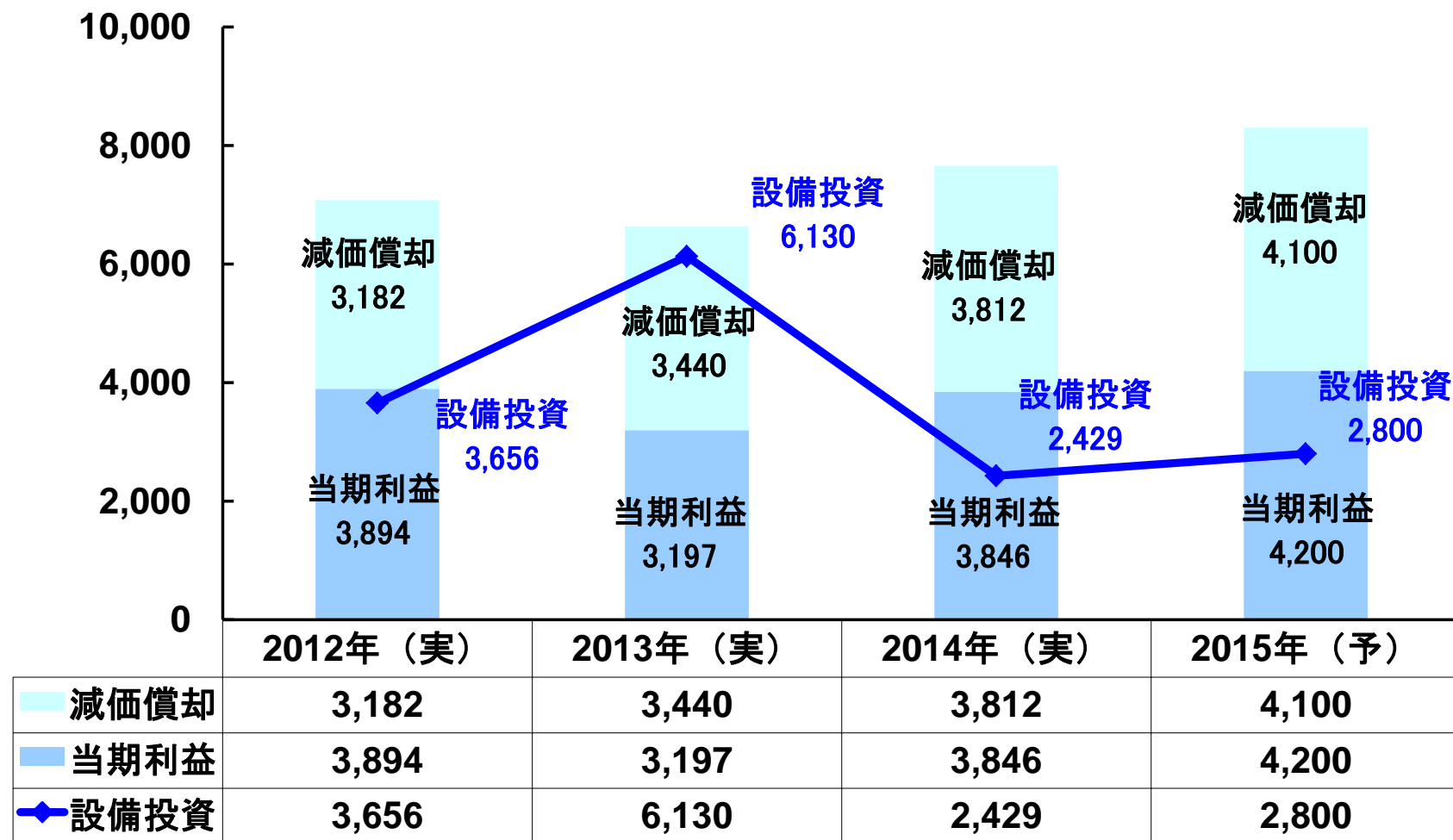
Ⅲ-1. 財政状態

(単位:百万円)

	2013年	2014年	増減	備 考
現金・預金	14,297	15,915	1,618	
受取手形・売掛金	14,898	18,653	3,754	売上増加による
たな卸資産	11,055	10,536	△519	在庫削減効果等 (為替影響を除くと約12億円削減)
その他流動資産	1,505	1,849	344	
固定資産	22,945	22,950	4	大型投資の一巡による設備投資額の減少
資産合計	64,704	69,906	5,202	
流動負債	14,144	14,602	458	
固定負債	3,471	3,308	△163	
負債合計	17,616	17,911	295	
純資産	47,087	51,995	4,907	当期利益計上、為替換算調整額増加等
負債純資産合計	64,704	69,906	5,202	
自己資本比率	72.8%	74.4%	1.6%	

Ⅲ-2. 設備投資額、減価償却費

(単位:百万円)

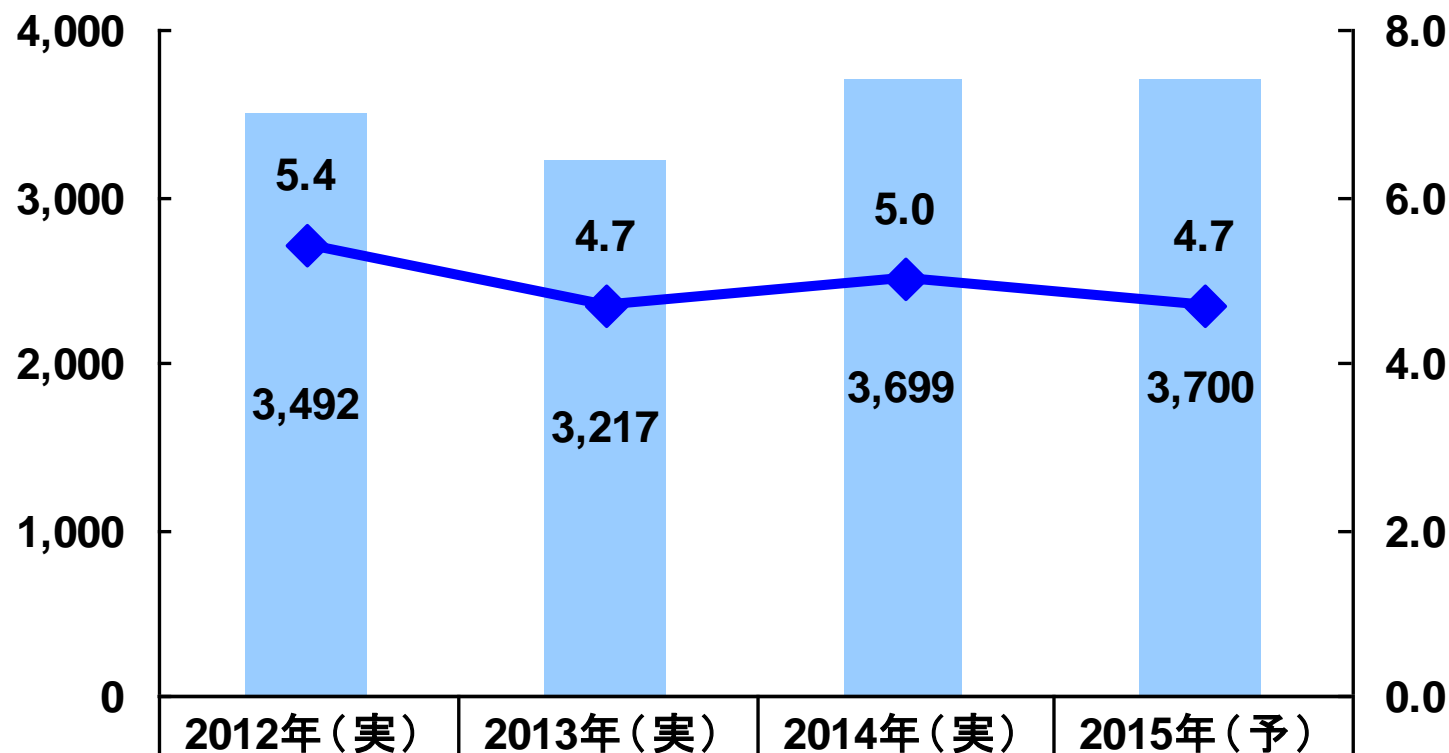


* (実):実績 * (予):予想

Ⅲ-3. 研究開発費

(単位:百万円)

(単位:%)



研究開発費	3,492	3,217	3,699	3,700
率	5.4	4.7	5.0	4.7

* 売上高に対する研究開発費比率

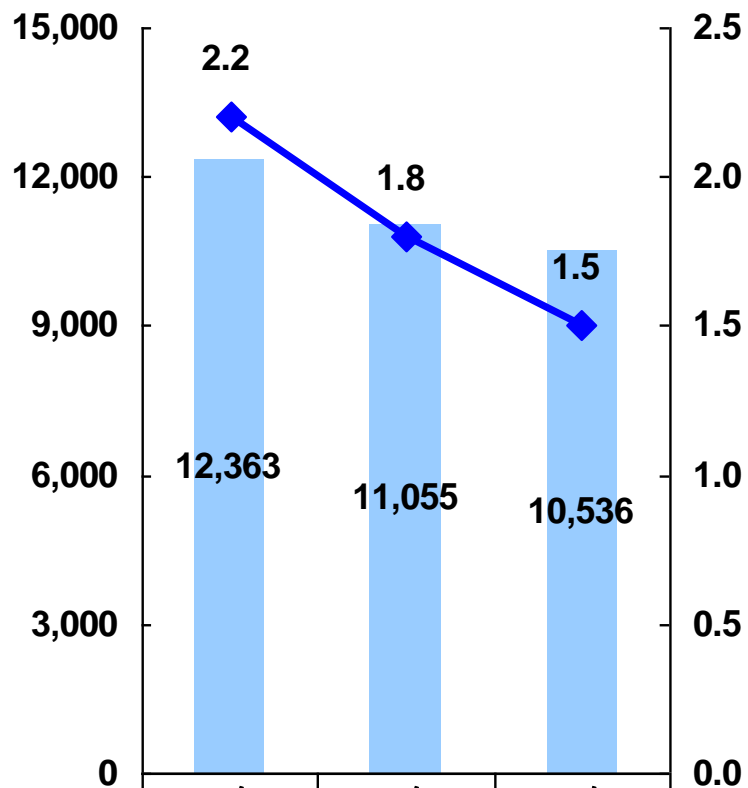
* (実):実績 * (予):予想

Ⅲ-4. たな卸資産、有利子負債

たな卸資産

(単位:百万円)

(単位:ヶ月)



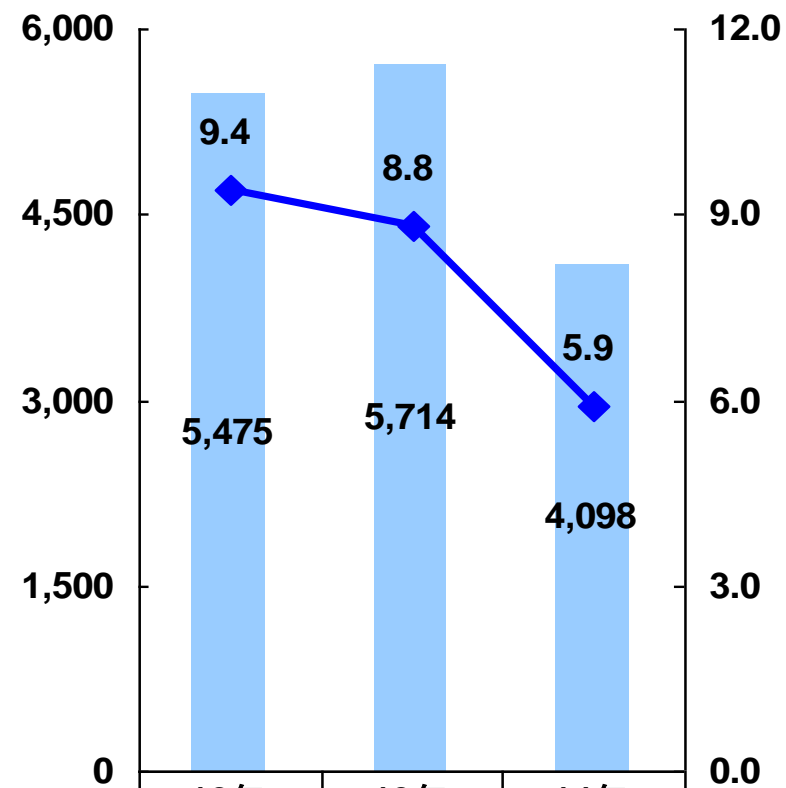
たな卸資産	12,363	11,055	10,536
回転月数	2.2	1.8	1.5

(直近6ヶ月平均売上で算出)

有利子負債

(単位:百万円)

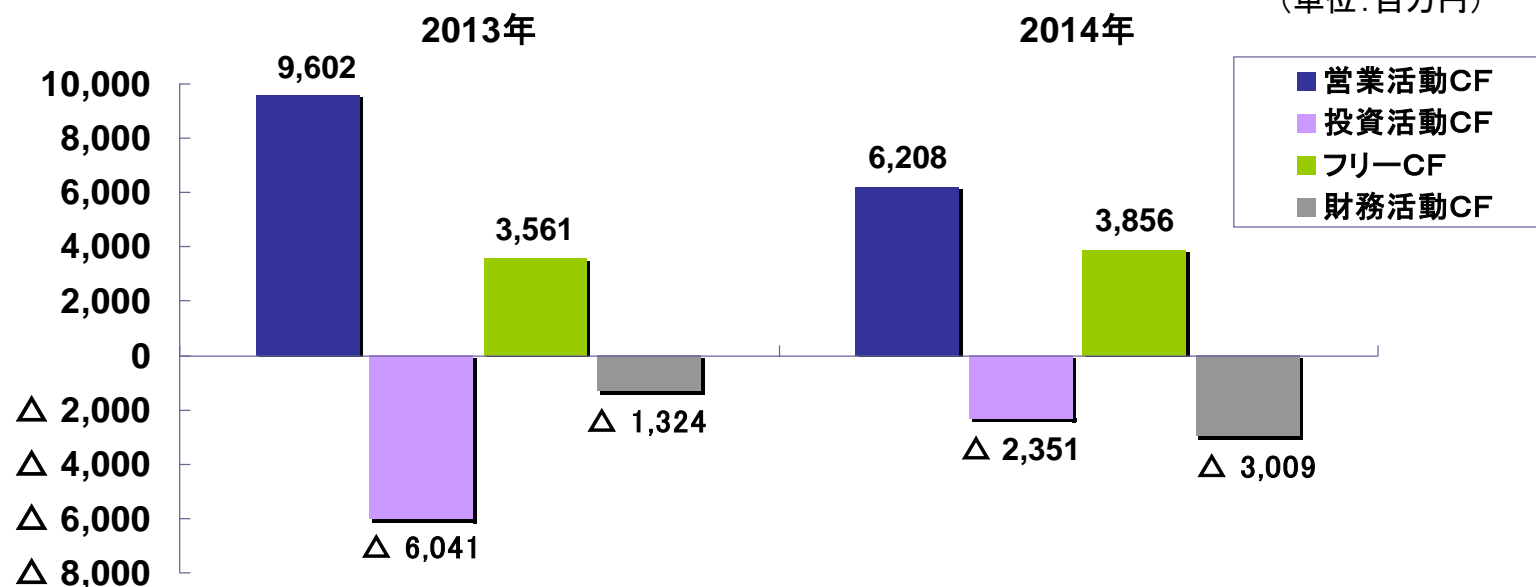
(単位:%)



有利子負債	5,475	5,714	4,098
借入金依存度	9.4	8.8	5.9

Ⅲ-5. キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



	2013年	2014年
営業活動CF	9,602	6,208
投資活動CF	△6,041	△2,351
フリーCF	3,561	3,856
財務活動CF	△1,324	△3,009
現金及び現金同等物の期末残高	14,297	15,915
手元流動性(ヶ月)	2.51	2.59

Ⅲ-6. 配当金の推移

2015年は年間5円の増配を見込む

(単位:円)

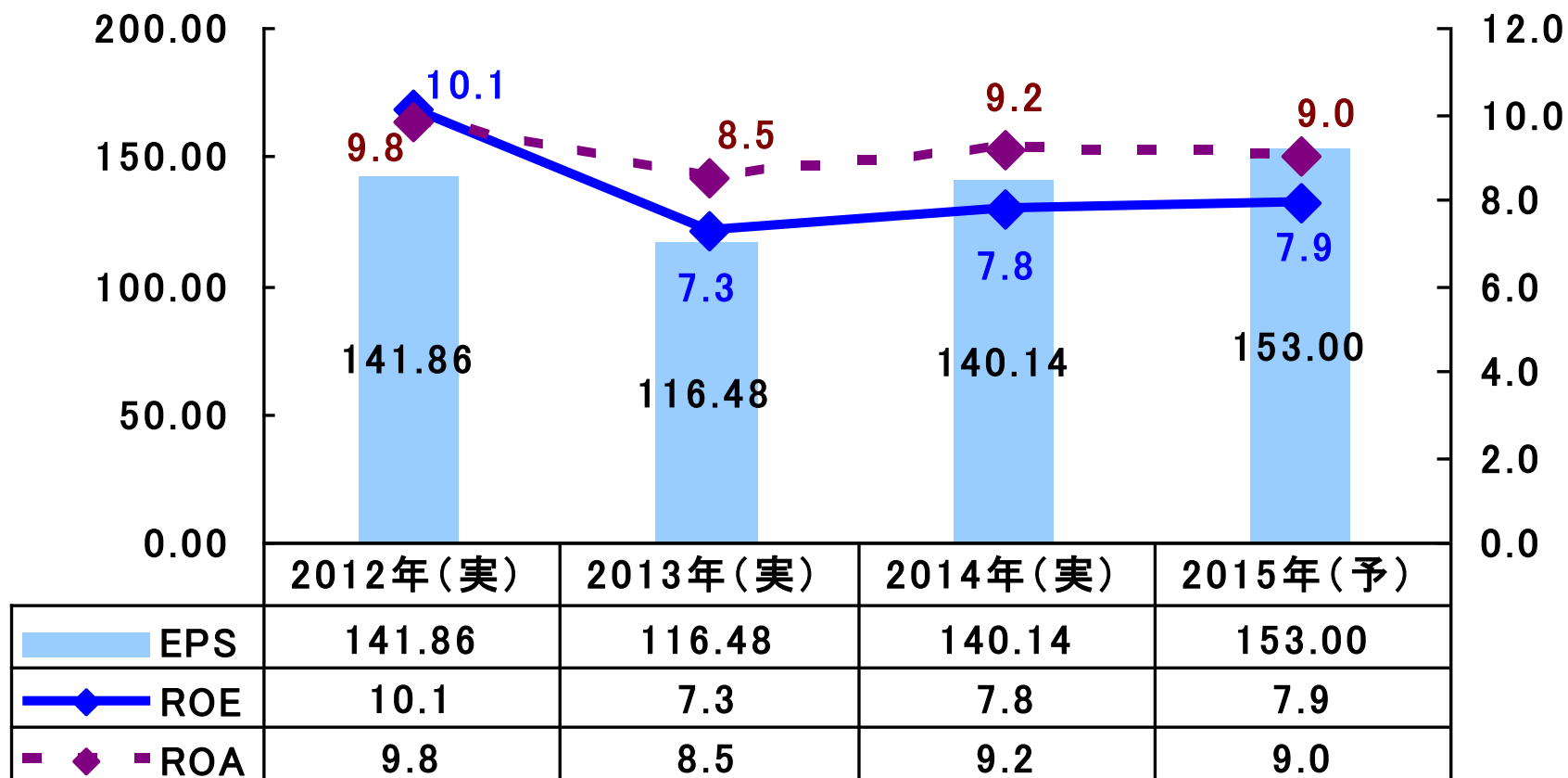
	2012年	2013年	2014年	2015年 (予定)
中間	20.00	20.00	20.00	25.00
期末	30.00	30.00	30.00	30.00
合計	50.00	50.00	50.00	55.00
配当性向 (連結ベース)	35.2%	42.9%	35.7%	35.9%

Ⅲ-7. 参考データ

① 主要経営指標

(単位:円)

(単位:%)



ROE = 当期純利益 / 純資産 (分母は期中平均)

ROA = 経常利益 / 資産合計 (分母は期中平均)

Ⅲ-7. 参考データ

② 為替感応度

2014年12月期 実績

	為替レート		影響額	
	2013年実績	2014年実績	売上高	営業利益
米ドル	97円73銭	105円79銭	31.0億円	0億円
ユーロ	129円81銭	140円37銭	10.5億円	9.0億円
他通貨	-	-	4.0億円	△0.5億円
合計	-	-	45.5億円	8.5億円

(前期実績に対する影響額)

2015年12月期 予想

	為替レート	1円の変動(円安)による影響額	
	2015年前提	売上高	営業利益
米ドル	115円00銭	3.8億円	0.3億円
ユーロ	135円00銭	1.1億円	1.0億円

IV. 中期戦略

産業の眼を創造貢献するタムロン[®]

IV-2. 中期目標(2017年)

売上高: 950億円

営業利益: 95億円 (営業利益率 10%)

ROE: 10%以上

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

① 写真関連事業

売上高：680億円（売上構成比71.6%）

2017年
中期目標

- ❖ 自社ブランドにおける画期的な新製品の順次投入
- ❖ 新製品の立上げ体制の確立
- ❖ 新興国市場の販売体制強化、マーケットシェア拡大
- ❖ ブランド力(性能・デザイン)の向上、潜在需要を呼び起こす施策の強化

新商品

14年6月 発売

マイクロフォーサーズ・
ミラーレス一眼カメラ専用



28-300mm VC PZD
(Model A010)



14-150mm (Model C001)

ミラーレス一眼カメラ専用
キヤノン用



18-200mm VC (Model B011)



戦略新商品



高倍率ズーム 14年4月発売
16-300mm VC PZD (Model B016)



ワイドズーム 14年12月発売
15-30mm F/2.8VC USD (Model A012)



超望遠ズーム 13年12月発売
150-600mm VC USD (Model A011)



標準系ズーム

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

② レンズ 関連 事業

売上高：45億円（売上構成比 4.7%）

2017年
中期目標

- ❖ 高付加価値製品に特化、コスト競争回避し、利益確保
- ❖ 得意分野を生かした新たなマーケットの創出
- ❖ 遠赤外線光学系レンズのコストダウンと受注強化
→ 有力カメラメーカーとの共同開発



デジタルカメラ用レンズ、ビデオカメラ用レンズ



オリジナルズームレンズ



遠赤外線カメラ用交換レンズ

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

③ 特機関連事業

売上高：225億円（売上構成比23.7%）

2017年
中期目標

- ❖ 監視カメラ用レンズの技術革新による全世界での販売強化
- ❖ 共創による新事業の推進
- ❖ センシング（画像認識）用途レンズへの注力等による車載関連事業の軌道化
- ❖ 屋外監視や夜間監視など新規分野のビジネス強化
- ❖ 中国市場に対応した開発・販売体制の構築、中国市場向け商品の投入



『Flat Field Mega Pixel Lens』シリーズ



30倍一体型カメラ用ズームレンズ
4.3-129mm F/1.6 (Model DF019)



車載用レンズ

IV-4. 生産体制の強化について

ベトナム工場一順調に生産数量を伸ばし、コスト対応工場へ



項目	現状
従業員数	13年7月稼動:200名⇒15年2月:1,180名
加工工程	レンズ加工、金属加工、組立
生産機種	一眼レフカメラ用交換レンズに加え、 2014年下期からは監視カメラ用レンズも生産

レンズ加工



金属加工



組立



IV-5. 中長期の課題

1. CSR経営および内部統制を強化するとともに、資本効率の向上を図ってまいります。
2. 開発から量産までのリードタイムの短縮を図ってまいります。
3. ブランド力の向上、新製品の開発強化およびマーケティング強化により業績拡大を図ってまいります。
4. 各生産拠点の役割を明確にし、更なる原価低減と、需要拡大への対応を図ってまいります。
5. 共創による新事業を推進し、新たな「産業の眼」を開拓してまいります。
6. 光学技術を中心とした要素技術開発と知的財産戦略を強化してまいります。

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2014年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。